

R E X T  
P H I L O S O P H Y

---

REXT HOLDINGS  
CULTURE BOOK  
2023.04 EDITION.01

## カルチャーブックとは、 フィロソフィーとは、

かつてカルチャー・ブックは、同じ世界観を指す共通の価値観を持った仲間が集うために作られました。

レクスト・フィロソフィと名付けられた**私たちのカルチャー・ブック**は「育つ文化」として作られており、**更新することを前提**としています。

組織の持つ絶対的な目的性は存在しますが、その過程や環

境の変化に応じて、ビジョンや文化が変わることは必然だと考えています。

フィロソフィとは、経営理念を実現するための共通の価値観を持った実践的な考え方を意味します。目指すべき理念に対する方法は様々であることから、その時代に応じた実践的な考え方がフィロソフィとしてまとめられています。

## コンパスとしてのフィロソフィ

理念を元に描いたビジョンに向かって共に旅をするには、「共通の価値観」を持ったコンパスが必要となります。

レクストホールディングスは、なぜここに存在し、なぜここに集い、何のために、どのようにして社会に対して提供価値を高め続けることができるのかを、私たちが持ち続ける文化や存在意義、資質や

スタンスなど「共通の価値観」を明文化することで、レクストらしい組織力の結集を目指しています。

日々の活動や選択の決断の時に迷いが生じた場合、コンパスとなるレクスト・フィロソフィを用いて「共通の価値観」に照らすことで、意見の集約、合意形成に役立て、理念に沿った方向へと導きます。



# WHAT IS REXT?

## レクストとは、

ラテン語で王を意味する REX  
と、その次を表す NEXT を掛  
け合わせてできた造語が、  
REXT (レクスト) です。

高いオーナーシップを持った  
人達によって創られる組織  
を、時代を超えても受け継が  
れて成長しながら継続してく  
事を意味した造語です。

成長に終わりなく現状に満足  
せず、常に挑戦し、その次、  
その次へと、常に今より良くな  
る事を目指し続けるという  
想いが、レクストという名に  
込められております。





## ZERO to 浪漫

レクスト・フィロソフィを一言で表しているのが、「ZERO to 浪漫」という経営理念。

この理念には「我々はどんな現状からでも、夢や可能性に挑戦し、多くの成果と経験を獲得し、次の世代の夢や可能性へと繋げていく」というビジョンが掲げられております。

仲間の夢は、私たちの夢、組織の持つ夢や希望の集合体を私たちは「浪漫」と呼んでおります。私たちは、経営資源、個人とし

ての知識、経験など殆ど何も無いZEROからスタートしました。スタートアップ時からあったのは、仲間と共に描いた夢とその人生を生きる決断だけです。私たちにとって、理想とする頂きは、どんな現状からでも、自分の夢と仲間の夢を共に実現することなのです。

そのような経験から、私たちは、レクストらしい「ZERO to 浪漫」という経営理念を掲げました。



ZERRO to 海



## 夢の集合体「浪漫」

夢を持った人、それを実現しようとしている人たちが私たちの主役です。

私たちは、その主役のために、全力で応援し、サポートします。私たち全員の夢は、夢を実現しようとする人たちの夢を実現させることなのです。私たちは、夢のある人も、まだ夢のない人も、仲間の夢を自分の夢に重ね合わせて実現させます。

て仲間の夢を応援する人は、夢と夢との集合体である「浪漫」の大切な一員なのです。仲間の夢を共に支えサポートする事で生まれる絆やプラスの影響こそが、可能性をどんどん引き上げる事に繋がるのです。



## 挑戦者であり続けること

私たちは、何年経っても、どんなに大きくなっても、ZERO からの挑戦によって生まれたベンチャー企業である事を忘れません。

このカルチャー・ブックがそうであるように、私たちは、今の文化を大事にしながらも時代と共に新たな最適な形に進化し続けます。

どんな時代になっても常に挑戦を続けて、その時代に上手くいく文化を更新し、最先端に触れ、**新たな価値**を創造します。



## 0 (ZERO) と夢の集合体

0 は、仏教の「この世は実体がないものから成り立っている」という考え方をもとにインドの数学者が発見しました。

例えば、カレーという食べ物は、最初から存在した訳ではありません。人参や玉ねぎ、スパイスなどの材料を集めただけでは、カレーとは言えません。

それらの材料を混ぜて煮込んでカレーとなり、「カレーという食べ物はカレーではない物の集合体」によって形成されたのです。私たちは「それぞれの価値観を持った人の集合体であり、それぞれの0から生み出されていく夢の集合体が**「ZERO to 浪漫」**という理念へと繋がっています。



# MISSION

## ミッションとビジョン

「会社を創る会社」は、レクストホールディングスの存在意義であり、新しい事業に挑戦し続け、次世代リーダーを創出するという使命感を持ったミッションです。

グループ内に複数の会社があって、お互いが競い合い、

助け合い、そして自分の夢だけでなく、仲間や後輩の夢を実現すべく共に尽くせる関係性を築くこと。

これがレクスト・ミッションを完遂するためのコーポレート・ビジョンなのです。

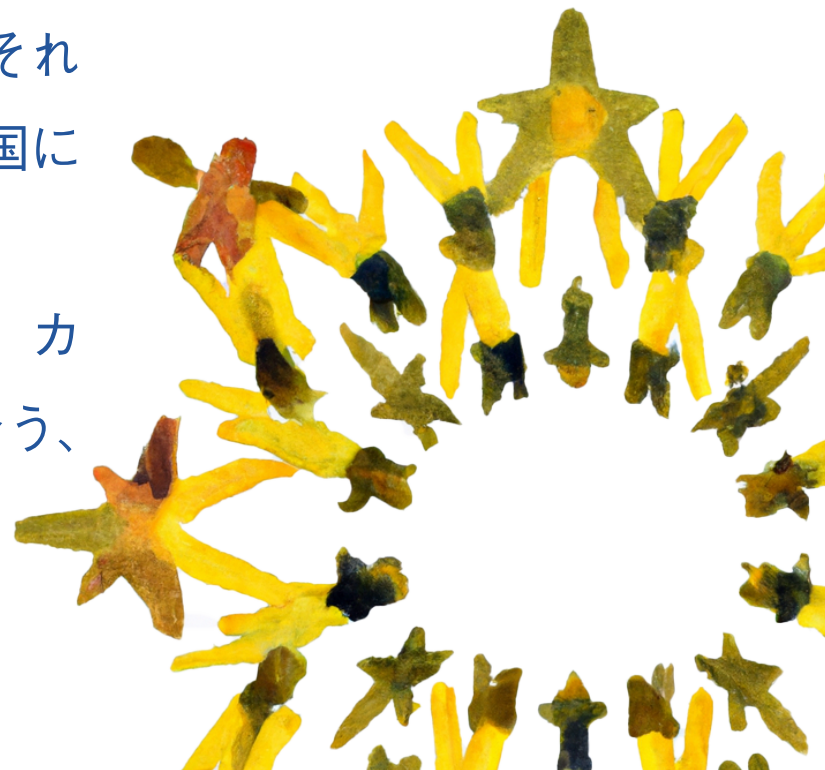
# & VISION

## コーポレートと カンパニーの関係性

コーポレートとは、EU 共同体のような存在であって、小国の集まりながらも団結することで大国と競い合うことを目的に生まれています。

カンパニーは、共同体の中心となるメンバー達であって、それぞれの言語やそれぞれの民族、宗教、文化を持った各国に模した存在です。

コーポレートはカンパニーを尊重し、カンパニーはコーポレートを尊重し合う、これがレクスト **共同体の真髓** です。



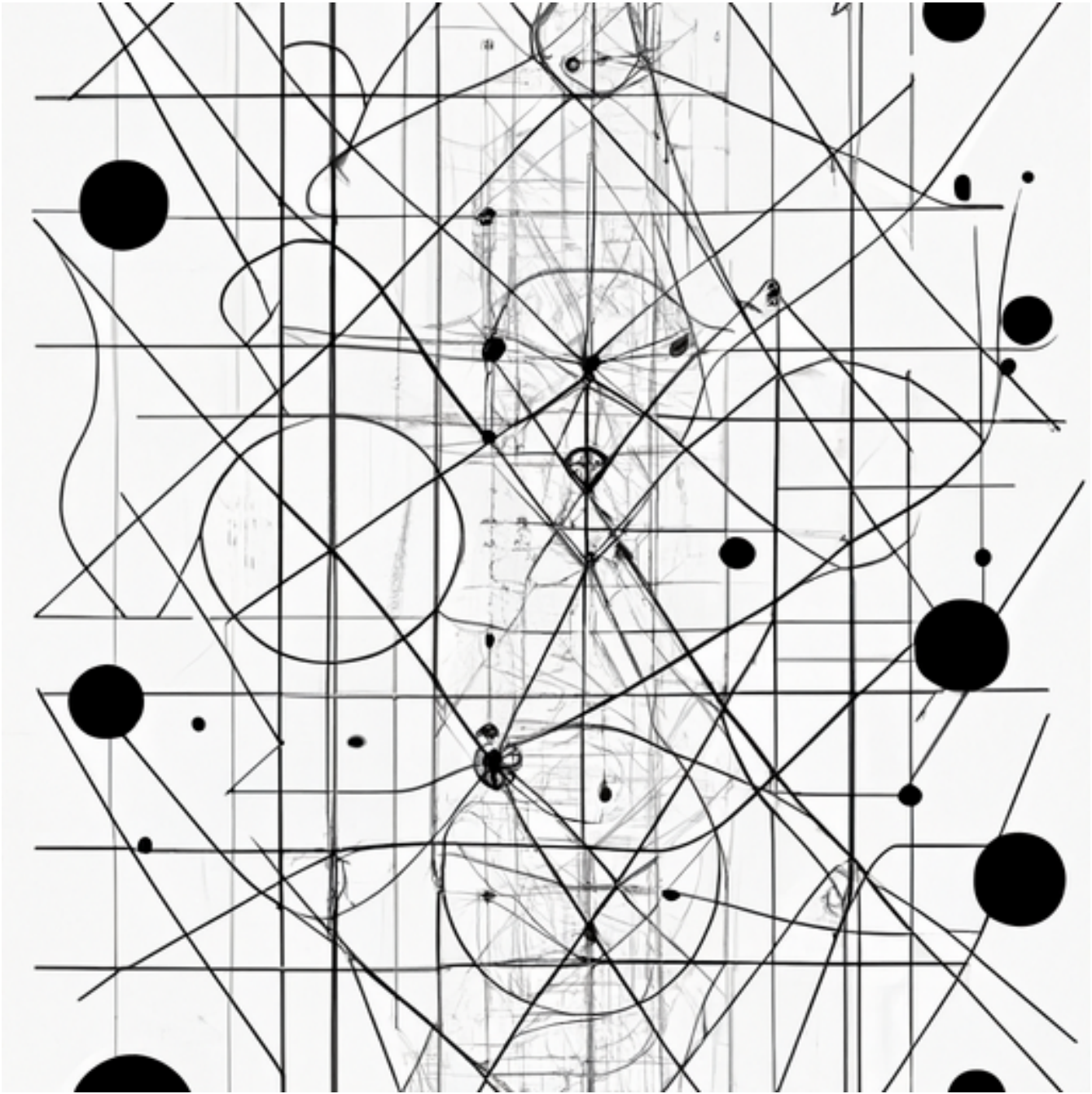


## 疎結合型共同体

一つの指示によって、互いの機能が密に連携し、連動して動作する密結合型の組織の弱点は、一つの歯車が狂うと全てが機能不全に陥ってしまうことです。一方、互いに依存し束縛するのではなく、各々の独立性や自主性を互いに認め合う自由構造を、疎結合といいます。

疎結合型組織の最大のメリットは、環境変化に強く、化学反応を起こしやすい点にあります。

私たちが目指す企業群は、各カンパニーが持つ個性を尊重し、**自律自走**できる疎結合型の組織体です。



# THE COMPANIES WITH DIVERSE COLORS

## 様々なカラーを持つカンパニー

レクストホールディングスでは、様々な価値観や個性、多様性を大切にしています。

**個性を多様化する事こそが、**永続的なカンパニーを創り上げる最も大事な要素であると考えています。

それぞれのカンパニーは、それぞれ個性ある人たちによって構成されます。

その結果、全く異なったカラーを持つカンパニーが次々に生まれ、その集合体であるレクストホールディングスは色鮮やかに輝きます。

それぞれの会社にも色があり、その中で働く人にも様々な色がある、これこそがレクストホールディングスの色なのです。



## 主役はカンパニー

レクストホールディングス傘下にあるカンパニーは、「**会社を創る会社**」というレクスト・ミッションによって設立された事業会社です。

各カンパニーがそれぞれ企業理念を持ち、他のカンパニーに依存することなく持続的な成長を目指します。

それぞれのカンパニーは、それぞれの目的を持ったレクスト共同体の主役です。

カンパニーは、それぞれ個性あるカラーを持ち、異なったカラーの違いを寛容的に受け入れることができる多種多様な存在なのです。



## コーポレートの役割

コーポレートであるレクストホールディングの役割は、カンパニーの成長を**最大限サポート**することです。そして、これから設立される未来カンパニーの誕生に尽力する責任があります。

コーポレートは、カンパニー各社が活動しやすい**共通基盤**を提供しつつ、同時にカンパニーの

独自性を尊重しながら、カンパニー間の連携を図るコーポレート・ビジョンを推進します。

コーポレートは、カンパニーの上位として存在するのではなく、全カンパニーの最大公約数的存在であって、バックオフィスの役割なのです。





# ROLES OF THE

## カンパニーの三つの役割

一つ目の役割は、  
組織を**成長**させ成果を上げ続ける事です。

事業で多くの成果を上げる事が、他のカンパニーのロールモデルともなり組織全体の大きな成果へも繋がります。

二つ目の役割は、  
カンパニー間の連携です。

大小様々なカンパニーがあり、事業内容も規模も歴史も異なりますが、ビギナーカンパニーを支援・活用し、**シナジー効果**とオープンイノベーションを図ります。

# ZERO

三つ目の役割は、  
コーポレートとの連携です。

新たなカンパニー・新しいリー  
ダーを誕生させるべくコーポ  
レートの活動にとって、カン  
パニーの**尽力と協力**が不可欠  
なのです。



# to 浪漫

## 個性の尊重

各々の独立性や自主性を互いに認め合う各カンパニーは、それぞれ個性あるカラーを持ち、異なったカラーの違いを寛容的に受け入れることができる多種多様な存在です。

そして、それぞれのカンパニーを構成しているのは、その組織で働く従業員です。私たちは、働く仲間に対しても、それぞれ個性あるカラーを認め、異なったカラーの違いを寛容的に受け入れることができます。

各々が自分らしく、個々に生きがいを感じる日々こそ、かけがえのない人生となることでしょう。

個性の尊重は、私たちのアイデンティティであり、それぞれの違いを認め、お互いの良いところを引き出し合う関係こそが、ZERO から生み出す源になると考えております。



## インクルーシブとイノベーション

私たちは、ダイバーシティの推進により、国籍や性別、障がい者、LGBT など多彩な人財を採用するだけでなく、それぞれの持ち味を活かす「インクルーシブ」な組織体を目指します。「インクルーシブ」とは、多種多様な人財と考え方、それら全てを無駄なく包み込むことができる寛容さのことです。

「ZERO to 浪漫」という夢の集合体を実現するには、「インクルーシブ」な精神が必要不可欠であり、材料が混ざり合っ  
てはじめて美味しい料理が誕生するのです。



# innovation

T H E K E Y W O R D O F G R O W T H

## イノベーションと成長

予測困難な時代において、企業の永続的な成長のために「イノベーション」は欠かせません。「イノベーション」とは、仕組み、組織、ビジネスモデルなど新たな

な考え方や技術を取り入れ、これまでにない新たな価値を生み出すことであり、現状に留まることのない組織風土が必須です。

「イノベーション」推進組織に所属する私たちにとって、「成長」というキーワードは最も大切にしている考え方です。企業が成長を続けるには、働いている全員が成長を続ける必要があるのです。技術的な成長だけでなく、人としての成長により、企業全体の成長へと繋がっていきます。

成

長

と  
い  
キ  
ー

ウ  
ワ  
ー  
ド



## 素直なココロ

人が成長するための要素として、私たちが最も大切にしていることは、「**素直なココロ**」です。「**素直なココロ**」というのは、人の意見を聞き、検討して、自分の本質を見つめることができることです。

起きたことを他人や環境のせいにせず、常に自分の責任として捉えることができる人は、自分の考えや価値観に固執せずに、

違った考え方やアドバイスに対して素直に耳を傾けることができるので、沢山の人の援助をもらうことができます。

出合いを大切にしてい、様々な考え方を理解しようとする「**素直なココロ**」の持ち主は、間違いなく成長スピードが早いのです。



## 自分との約束

目指す自分の姿を描き、今の自分とのギャップを埋める事で、成長ができます。着実に、確実に理想とのギャップを埋めるには、自分に課した約束を一つ一つ守ることと、その積み重ねが成長になるのです。

社会生活の中で、他人との約束を守るというのは当たり前です。約束を守らなければ、信用も信頼もされません。

一方、自分との約束を破っても他人に迷惑をかけるものではありませんが、自分を信用できなくなり、自信を失うことでしょう。

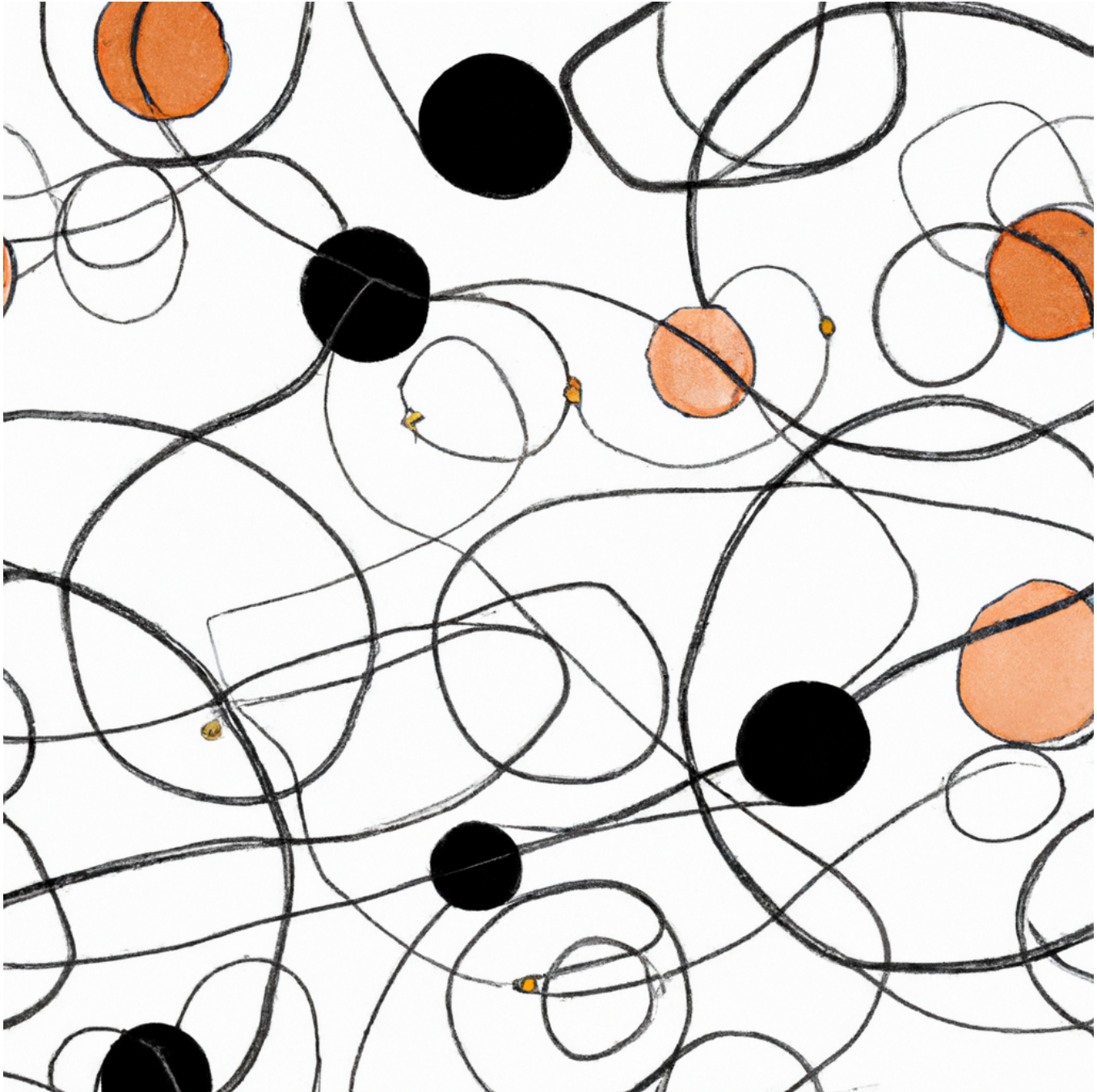
誰から言われたとか、誰かのためとかではなく、自分が自分に課した **約束** を守るということは、自分への信用ができ、つまり自信に繋がって成長を実感できるのです。



## 自律自走する

成果を創り出すためには、自ら考え、行動をする必要があります。私たちは、互いに依存するのではなく、各々の独立性や自主性を互いに認め合う「自律自走」型組織を目指しています。それは同時に、組織に対してだけでなく、チーム内にいるメンバー全員にも「自律自走」が求められているのです。「自律自走」とは、自分が「やり

たい」ことだけをし、「やりたくない」ことをしないという自我意識のことではありません。自分が「やるべき」こと「やれる」ことを自ら考えて、他人から言われて「やる」のではなく、自分の意志で、自分が決めて進んで行動をすることを「自律自走」と呼んでおります。私たちの組織は、「**自律自走**」できる人たちの集合体なのです。



## ポジティブ思考と能力

人の能力は、保有するスキルや知識だけでは表せません。どんなに高い能力を持っていても、それを発揮しようとする事がなければ成果は生み出せません。つまり、成果とは能力と使い方の掛け算によって大きく変化します。いかに自分を活かすかは、自分の思考によって決まります。

前向きな思考は、自分の能力をプラスの方向に使おうとします。

自分の能力を発揮し成果を創り出すには、意識してポジティブな思考を心がけ、自分の存在が周囲に**プラスな影響**を与えているという精神を持つことが大切なのです。





## 思考と言葉と行動と

ネガティブな思考は、ついつい否定的な言葉を発してしまい、周囲にもマイナスな影響を与えてしまいます。

ポジティブ思考を心がけることで、肯定的な言葉を発するようになり、周囲にもプラスの影響を与えるようになるでしょう。

いつも肯定的な言葉を意識して発するようになると、その結果、ポジティブな行動に繋がります。

思考は言葉に表れ、言葉は行動をもたらすのです。どんな人でも、思考と行動が伴えば**無限の可能性**が広がります。



# 挑

# 戦

チャ  
レン  
ジ

# TAKING

私たちにとって成長とは、挑  
戦することであり、チャレン  
ジすることです。

挑戦するには勇気が必要です。  
挑戦しないというのは、行動  
しないことです。

行動しないというネガティブ  
な思考では、失敗すること  
ありませんが、得ることもあ  
りません。

# CHALLENGE

# GOING ACTION

行動しなければ後悔します。

一方、勇気を持ってポジティブに行動すれば、失敗することもあります。失敗から学ぶ、得られることは沢山あります。

私たちにとって、やらないよりもやる、行動することは行動しないという考えよりも優先される共通の価値観なのです。

失敗から学ぶ。

GOING